

# 私も休もう

## 株式会社日立製作所



アンケートを実施したところ、回答者の6割は男性で、『男も子育てを！』という声があがっています」といいます。

アンケートを実施したところ、回答者の6割は男性で、『男も子育てを！』という声があがっています」といいます。そんなニーズに

「08年4月に、日立製作所労働組合主催による『パートナーシップフォーラム』が開催されました。全国から約60人の参加者が1泊2日のプログラムに参加しました。会場には、託児室も設けられたため、子ども連れで参加する社員もいました。社内外講師による講演の後、分科会ではグループに分かれて、『仕事と生活の両立』『充実した自分時間の持ち方』について話し合いました。普段、仕事ではなかなか知り合えない他事業所の社員同士で意見を交換することにより、さまざまな人の考え方や仕事と生活の両立に関するノウハウを知ることができました」と、西岡さんは社員同士の密なコミュニケーションの効果を実感している。

※調査概要 【調査対象】従業員301人以上の全上場企業に調査票を郵送(ファザーリング・ジャパンのホームページで上記以外の企業の回答も受付) 【回答者】人事部長またはそれに準じる人 【調査時期】2008年4~5月 【標本数】2,264社 【有効回収数】67社(3%) 【調査項目】労働時間、休業制度、啓発活動等4分野約40項目の実態を調査

NPO法人ファザーリング・ジャパンと株式会社第一生命経済研究所が共同で行った調査『父親が子育てしやすい会社アンケート』※で、2年連続日立製作所が第1位に輝いた。2007年度の配偶者出産休暇(5日間。分割取得可)取得者は160人にのぼる。いったい日立に何が起きているのか。同社労政人事部長伊バシテイ推進グループ部長代理西岡佳津子さんは「ここ数年、とくに20~30代の男性社員の間で休暇の取得者が自然発生的に増えています。イントラネット上でワーク・ライフ・バランスに関する

アンケートを実施したところ、回答者の6割は男性で、『男も子育てを！』という声があがっています」といいます。そんなニーズに

「08年4月に、日立製作所労働組合主催による『パートナーシップフォーラム』が開催されました。全国から約60人の参加者が1泊2日のプログラムに参加しました。会場には、託児室も設けられたため、子ども連れで参加する社員もいました。社内外講師による講演の後、分科会ではグループに分かれて、『仕事と生活の両立』『充実した自分時間の持ち方』について話し合いました。普段、仕事ではなかなか知り合えない他事業所の社員同士で意見を交換することにより、さまざまな人の考え方や仕事と生活の両立に関するノウハウを知ることができました」と、西岡さんは社員同士の密なコミュニケーションの効果を実感している。